

実践プログラム 1 トークセッション

ゲスト講師は環境問題に取り組む若手経営者のお二人。
さまざまなお話を聞いた後にトークセッションを行いました。



城さんとトークセッション

トークセッションに参加した
PRプロジェクトメンバー



さをり織り作家
「手織工房じょうた」代表
じょうたつ や
城 達也 さん



どんな問題でも
思い込みをなくしフラットな
考えを持つことが大切

城さんの祖母が生み出した「さをり織り」の特徴は、本来ある織り物の型がなく自由に織ることができることと、残糸を使うこと。海外での注目度も高い「さをり織り」を継承する城さんからは、織物を通じて知った表現の自由や個性の大切さ、残糸リユースを通じて変化した価値観などの話を聞くことができました。また、作品の制作時間や作品配送でのリユース、織り機についてなど、プロジェクトメンバーの質問にも真摯に答えていただきました。



玉川上水など身近な環境問題についてもトーク

アパレルブランド
「land down under」代表
いけがみよしゆき
池上慶行 さん



国内には素晴らしい
ものづくりの現場がたくさん
あることを知ってほしい

服づくりに興味があり、ジーンズの産地・岡山県倉敷市児島こじまに地域おこし協力隊として移住した池上さん。ものづくりの現場に飛び込んだことで、衣服を取り巻く環境問題の深刻さを実感。循環型経済（サーキュラーエコノミー）を導入したアパレル会社を設立しました。ジーンズのサーキュラーファッションを提案するブランド設立までの経緯や環境への思い、循環型経済についてのほか、今後の運営展開などの質問にも答えていただきました。



池上さんは岡山県からリモートで参加

学生がSDGsを学ぶ



今回のゴール

〈GOAL 4〉
質の高い教育を
みんなに

4 質の高い教育を
みんなに



高校生・大学生を対象にSDGsに関わる実践型のプログラムを体験し、その体験で得た環境や地域についての理解や気付きを発信するためのコンテンツ制作を行うプロジェクトを進めています。

教えてくれる人



むさしのエコreゾート
いわもとようこ
岩本容子 さん

実践プログラム 2 堆肥作りと植え付け

キラリナ京王吉祥寺の屋上で植物の植え付けを行いました。
堆肥作りや水やり、育成、収穫まで随時メンバーで進めていきます。



植え付けに参加した
PRプロジェクトメンバー



1 プランターづくり

植物を植えるプランターの組み立てから開始。説明書を見ながらみんなでサポートし合い作りしました。

4 コンポストを攪拌



メンバーが作ったコンポストボックスの堆肥の熟成が進むよう、中身を攪拌。完成したら、堆肥として植え付けた植物に利用します。

3 水やり



たっぷり水を与えて完成！今後はメンバーが週2回、週単位で水やり当番を決め、収穫まで水やりを行います。

2 植物を植える



それぞれのプランターにはハーブ、野菜、花を植えました。

PRプロジェクト

こんなゴールにもつながります



岩本さん からのエール



環境問題は身近にあるということに気づき、環境問題について自分で考えるきっかけになればうれしいです。

わたしたちのミライ宣言！



大学2年生
たなかゆみ
田中佑実さん

興味があったエコレゾートを訪れたとき、チラシを見つけたのが参加のきっかけです。プロジェクトを通じて地域のお店や人々を知ることによって愛着が増し、もっと地域のことをSNSなどを通じてPRしたくなりました！



大学4年生
かんだきかずひろ
神崎雄大さん

前から市が行っている環境の取り組みへの意識の高さを感じており、それに自ら携わることで、自分が成長できると思い参加を決めました。講座で学んだ知識を自分なりに考え、身近な人たちに伝えていければと思います。



大学2年生
うしきもえ
牛木萌絵さん

市役所勤めの両親の影響でよく環境イベントに参加しています。PRプロジェクトでは、環境に関わる多世代の方と交流ができ、環境への知識はもちろん、これからの社会人に必要な知識や新しい価値観なども学んでいます。